



風っ子・環境キャンペーン



手作りのみつろうラップを見せてくれたメンバー。ラップ作りを始める前は、石油や石炭を使わないエコクッキングでおさきこみも作りました

前橋市

好きな布で環境に優しい みつろうラップ作りにも挑戦 ガーデンクラブ

おにぎりやサンドイッチを包んだり、食品を冷蔵庫にしまったりするとき、便利なのがプラ

おおくの人に使われています。しかしその反面、使い捨てでリサイクルが難しいというデメリットも。さらに、ラップの原料のプラスチックは、自然に分解されることはなく、環境への影響が心配されています。

繰り返し使えて、燃やしても有毒なガスが出ない、しかも可愛かったりカッコ良かったりするラップがあったら…。そんな願いを叶えてくれるのが、みつろうラップです。みつろうとは、ミツバチが作る天然のろうのこと。これを布に染み込ませたのが、みつろうラップです。

ガーデンクラブでは、メンバーが好きなハンカチを持ち寄って、みつろうラップ作りをチャレンジしました。ハンカチの上で、削ったみつろうを広げてクッキングペーパーをかけたら熱を加えるだけ。乾けば素敵なラップのできあがりです。短時間に何枚ものオリジナルラップができました。

沼田市の田崎治子さんは「可愛いラップができてうれしい。サンドイッチを包んで、お出か



ハンカチの上みつろうをバラバラ。隅の方も忘れずに

けしたいですね」と話していました。「みつろうラップは手の温度で形が変わります。水洗いすれば繰り返し使えてとってもエコ」と話すのは代表の井上金治さん。簡単にできるうえ、乾燥に弱い野菜を包んだり、お皿代わりに使ったり、アイデア次第で使い方は広がります。みなさんも、お気に入りの布を使って作ってみてはいかがでしょうか？

ガーデンクラブ

井上金治代表 8人
kininoue@lagoon.ocn.ne.jp

環境アドバイザーの有志を中心にしたグループ。2400㎡の敷地に150種類以上の木々が育つWildlife gardenでは、子ども向けの活動も企画する予定です。



ぐんまちゃんのハンカチで作ってみたいな

群馬県のマスコット「ぐんまちゃん」
許諾第2019-110878号

身近にできるエコ活動

圧力鍋でエコなクッキング

みなさんは、圧力鍋を使ったことがありますか？ 圧力鍋とは、大気圧以上の圧力をかけることで、通常よりも高い温度で食材を調理することができる鍋のことです。圧力鍋はその特徴から一般的な鍋よりも短い時間で調理することができます。調理の時間が短くなるということは、使用するガスの量が減るということです。使用するガスの量が減ると、二酸化炭素の量も減りますね。圧力鍋を使って、二酸化炭素の減少に貢献しながら、おいしい料理を作りましょう。

群馬県環境サポートセンター

風っ子・環境キャンペーン協賛社

(順不同)

トヨタ モビリティパーツ株式会社 群馬支社

Honda Cars 群馬

KADOYA 角屋工業株式会社

日産サテオ群馬

富士スバル

UKユーケーホーム (株)浦野建設

ニューサンピア

JA全農ぐんま

群馬トヨペット

カネコ種苗株式会社

上武印刷株式会社

トヨタレンタリース群馬

総合住宅展示場 上毛新聞マイホームプラザ